



たかずやの里通信

発行日
平成 30 年 3 月 21 日
発行人
児童養護施設 たかずやの里

伊那市東春近 7000-8
TEL 0265-72-6456
FAX 0265-72-7607

春風に乗せて「たかずやの里通信」をお届けいたします。

たかずやの里の子どもたちの成長の足跡を、ご覧いただければと思っております。開かれた施設を目指し、今後とも地域と共に歩んで参ります。

ふれあいまつり

10月16日(日)に「縁～みなさまに支えられて～」をテーマに掲げて開催されたふれあいまつりに、雨天にも関わらず多くの皆様にお越しいただきました。今回で21回目を迎えるふれあいまつりは、屋内の開催となりました。前日準備には地域の方々のご協力により、テントやシートの準備をして頂いていたおかげで、当日の運営もスムーズにできました。たくさんの方にお越しいただけたので、廊下をすれ違うのも一苦労。文字通り「ふれあい」のイベントになりました。

オープニングを飾る太鼓クラブの演奏。やや緊張した面持ちの子ども達でしたが、会場の皆様からの拍手を頂き、満面の笑顔になりました。日頃から練習を重ねてきている子どもたち。益々自信につながったと思います。



遊びの広場や、毎年子どもたちが中心になって販売を行う模擬店はどこも大盛況でした。フランクフルトや綿あめ、ポップコーン、ジュースなど、販売を通してお客さんと笑顔で接客する子どもたちは、たくさんの良い経験が出来たのだと思います。「美味しかったよ」の言葉に、とても嬉しそうでした。販売、ステージ発表と忙しく動き回った子どもたちで



したが、日常ではなかなか味わえない貴重な一日になったのだと思います。

遊びの広場に設置された職員手作りの輪投げコーナー。お目当ての景品を狙いながら夢中になって遊んでいました。日頃は会議室として使っている部屋ですが、この日ばかりは、子どもの遊び場として開放し、輪投げやプラバンをして楽しんでいただきました。遊び終わった子どもたちは大きなぬいぐるみを抱えてウキウキしているようでした。また展示物コーナーでは、地域の皆様との「縁」の紹介、各ユニットの様子や県下にある児童養護施設の紹介、たかずやの里の歩みを展示させていただきました。



ステージ発表では、グレート無茶さん率いる信州プロレスさんが、お忙しい中ふれあい祭りに駆けつけてくださり会場を盛り上げてくださいました。マイクパフォーマンスも面白く、笑いの渦に引き込まれていきました。鍛錬の賜物である太い腕にぶら下がってブラブラ、ユラユラ…。子ども達も大喜びでした。何人ぶら下がっても軽々持ち上げてしまうレスラーの姿に中高生も触発されたようでした。



東春近小学校4年生の皆さんが、ロックソーランの踊りを披露してくれました。お揃いの法被を着て、とても格好良かったです！また、東春

近小学校6年東組の皆さんは、「総合的な学習」の時間に練習している太鼓の演奏をしてくれました。力強く迫力のある音の響きが、会場の熱気を更に高めてくれました。

たかずやの里の子どもたちも、歌や太鼓演奏でステージに登りました。練習不足の面は多々あったと思いますが、それでも会場の皆様が拍手を送ってくれ、照れながらも嬉しそうでした。幼児さんは、可愛い花笠音頭を披露しました。大勢の人の前でも堂々とした姿でした。退園生が4名も駆けつけ、即席でバンドを結成。「負けないで」という曲を演奏しました。

長年、地域の皆様からのご理解と協力を頂いてきたからこそ、今のたかずやの里があることを振り返り、来年度も感謝の気持ちを込め「たかずやふれあいまつり」を開催したいと考えております。来年度も是非ご来場ください。児童職員一同、心よりお待ちしております。

体験記録報告

地域の皆様からの温かいお気持ちで、色んな体験をさせていただいています。

収穫祭

田んぼの畦にはコスモスの花が風で揺れている中、みんなで脱穀を行いました。ハゾに干した稲を脱穀機に入れたり、藁を束にして縛ったりそれぞれ分担して作業をしました。

作業が終わってからのおやつタイムは最高な気分でした。

そして、11/5には田仕事でお世話になった方々をお招きし、収穫祭を行いました。テーブルには収穫した新米とお漬物、ニジマスの姿焼きが並びました。

ニジマスはその日に釣り堀で釣ってきた物です。皆でご馳走を堪能しました。自分たちで収穫した白米は、とても美味しかったです。



松本山雅観戦

長野銀行様のご厚意で、サッカー観戦をしました。松本のアルウィンまで行き、選手たちの真剣なプレーを目の当たりにした子どもたち。選手たちのプレーはもとより、サポーターの声援に触発され、会場のサポーターと一体になり、声を出したり、応援歌を歌ったりして楽しんできました。松本山雅のチームカラーでもあるグリーンのTシャツを着たり、山雅のタオルを首に掛けたりして、応援席の臨場感を味わった子どもたち。やや興奮気味でした。帰りの車の中でも、応援歌を歌って盛り上がっていました。未来のJリーガーを夢見ていることでしょう。



節分

たかずやの里の節分は毎年、田楽座様のご協力により舞台上で使う面をつけて「鬼」を演じてくれました。子どもにとっては怖い鬼です。本物の鬼が来るわけです。鬼を見るなり泣きながら、逃げながら豆を投げっていました。中高生は…!(^_^)!

夕食は恵方巻を黙って食べ、今年頑張りたいことを胸の中で思いました。

そして、いざ、節分会場の交流館へ…。初めは和やかな雰囲気でしたが、4体の「鬼」が登場すると、雰囲気が一転。幼児さんは高校生の背中にしがみついたり涙をこらえていました。「鬼は外」と声を枯らしながら豆を投げました。

今年も良い節分ができました。



椎茸の駒打ち

3月上旬、椎茸の駒打ちをしました。金槌を片手にドリルで開けた穴に駒を無心で打ち込んでいました。子どもたちは初めての体験で喜んでいました。一本の木にたくさんの椎茸が生えてくるのか半信半疑な様子でしたが、この木に椎茸がたくさんなる事を願って、駒打ちをしました。

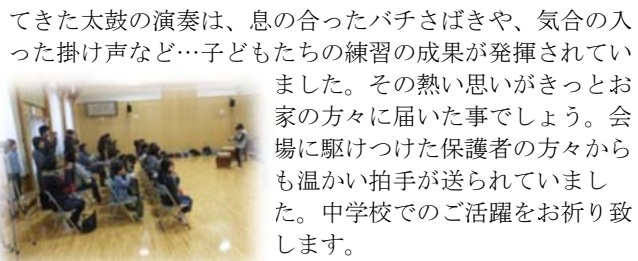


「ボク、シイタケがどうやって作っているか知らない」「シイタケって土に生えるんじゃないの?」と新しい発見が出来たようです。

交流館は地域の皆様にもお使い頂いています！

たかずやの里の交流館は、ヨガ教室、太極拳、健康体操など多くの団体の方々にお使いいただいています。東春近小学校6年東組の皆さんも毎週金曜日の午後から、交流館で太鼓の練習をしていました。

そして、卒業を間近に控えた3/9(金)には、保護者の方々に感謝を込めた太鼓の演奏会が行われました。1年間頑張ってきた太鼓の演奏は、息の合ったパチさばきや、気合の入った掛け声など…子どもたちの練習の成果が発揮されました。その熱い思いがきっとお家の方々に届いた事でしょう。会場に駆けつけた保護者の方々からも温かい拍手が送られていました。中学校でのご活躍をお祈り致します。



地域の方々に支えられています。

☆カットボランティア

年4回程、子どもの髪の毛をカットしてくれています。いつも子どもの注文通りのヘアースタイルにしてくれます。

☆おやつ作りボランティア

子どもたちの3時のおやつにと、毎回思考を凝らしたおやつを作ってくれています。ゼリーが大好評です！

☆市民大学ボランティア

施設内外の清掃活動をしていただいたり、子どもたちが使う手拭きを縫っていただいています。

<あとがき> たかずやの里の敷地内に福寿草が咲いていました。誰も植えていないのですが、いつの間にか根を張り、花を咲かせていました。その黄色の可憐な花は、そっと春の訪れを告げてくれました。

児童養護施設たかずやの里も、この福寿草のようにしっかりと根を張りながら成長していきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。